

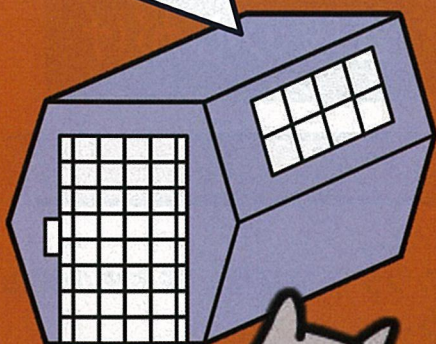
ペットといっしょに

災害への備え

災害時の
心がけ

まずは人間の安全を
確保しよう！

動物の安心できるケージや
キャリーを準備してね！



鑑札と注射済票と
迷子札を付けよう！



引き綱は必ず付けよう！



① 災害が起こったときはまず自分達の安全確認をしましょう。
そしてペット達が無事であるか確認しましょう。

② 避難はペットも一緒にしましょう。
避難は長期になるかもしれません。
避難するときは、ペットも一緒に連れて行きましょう。
避難所によってはペットの同伴ができない可能性もありますので、役所の職員に相談しましょう。
また、室内で飼い主と一緒に生活していた動物であっても避難所では離れて暮らさなければならぬ場合もありますので気持ちの整理も必要です。

③ 避難時には避難袋を忘れないようにしましょう。
避難袋に用意できないものについては、身近に置くようにして、避難時には一緒に持ち出せるようにしましょう。

④ 犬には引き綱を必ず付けましょう。
避難所においても、常時引き綱を付け、放さないようにしましょう。動物に近づけない方もいますので、すぐに制御できるようにしましょう。
特にたくさんの方が集まる場所では、臭いや吠え声で辛い思いをされる方がいないように、ご配慮をお願いいたします。

ペットといっしょに 災害への備え

普段の心がけ



①健康管理をしましょう。

狂犬病予防注射、感染症のワクチン接種、寄生虫の駆虫は、必ず済ませておきましょう。

迷子札

鑑札と
注射済票



②所有者の明示をしましょう。

万が一、ペットと離ればなれになった時のために、ペットの首輪に鑑札と狂犬病予防注射済票そして迷子札などを付け、ペットにはマイクロチップを装着して所有者明示をしましょう。犬の飼い主は、市町村への登録義務が課せられています。もし飼い犬が迷子になっても、鑑札が付いていれば、見つかる機会が増します。未登録の場合はすぐに登録しましょう。



③避難袋を用意しましょう。

ペットの餌や水などの飲食料(最低5日分)、ペット用トイレ、現在与えている薬、ケア用品、飼い主と一緒に写った写真、ケージ、キャリーバッグなどはすぐに持ち出せるように用意をしましょう。また、猫はキャリーバッグに直接入れると、ケガをしたり、飛び出すことがあるので、洗濯ネットに入れてからキャリーバッグに入れましょう。



④災害時の避難場所を確認しましょう。

災害発生時にどこに行けば良いのか、また、自宅から避難場所までの経路を確認しておきましょう。

おおさか防災ネット <http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html>

⑤「しつけ」をしっかりと行いましょう。

災害時には、人も動揺していますがペットも同じです。普段おとなしい動物でもいつもと違う行動を取ってしまう可能性があります。吠えない、ケージ内で大人しくするなどの基本的なしつけをしっかりと行っておいて、飼い主は自分の飼っている動物を制御できるように日頃から訓練しておきましょう。



大阪府

環境農林水産部 動物愛護畜産課 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16大阪府咲洲庁舎(さきまコスモタワー)21階 Tel06(6941)0351(代表)
このリーフレットは1,000部作成し、一部あたりの単価は15円です。